

これからも、まちとともに
すべての大切な日々のために。



これからも、共にまちの安心を守っていくために
皆さまのご意見・ご感想をお聞かせください。



患者さんのご紹介・医療連携のご相談

☎ 045-628-6365 (直通)

☎ 045-628-6367 (直通FAX)



https://www.yokohama.jrc.or.jp/portal/coop_op_reserv/



開院から20年。

みなとは、変わります。



みなと赤十字病院
ブランドスローガン

もしもを守り。いつもへつなぐ。

このまちの人々に、今、そして、これからの毎日を
安心して過ごしていただきたい。

そんな思いから、みなと赤十字病院では、
24時間365日、チームで適切な医療を提供。
患者さんの予期せぬ不安や苦しみに寄り添い、
緊急性や専門性の高い「もしも」を守ります。

さらに、地域の医療機関とも密接に連携。
一人ひとりの「いつも」の日々へとスムーズにつながります。

地域一体となったチーム医療だからこそお届けできる、
あなたのための安心がある。

これからも、まちとともに、すべての大切な日々のために。

地域の医療機関の皆さまへ



みなとReborn Projectが目指すところ

2005年に横浜市立港湾病院と横浜赤十字病院が統合して作られた横浜市立みなと赤十字病院は、開院20周年を迎えました。近隣の医療機関の皆さまから多くの患者さんをご紹介いただくとともに、年間1万台を超える救急搬送により、本院は横浜市中央部の医療を支える中核病院のひとつとして発展してまいりました。

一方、堅牢を誇った本院の建物ですが、空調や発電装置などの基盤設備は次第に老朽化し、大規模修繕の時期を迎えつつあります。そうしたなか、職員もまた設立当時に負託された役割を知らないものが大多数を占めるようになりました。そこで、20周年を機に、改めて本院の存立意義について内外に問い直すことを目的として、「みなとReborn Project」を始めた次第です。

プロジェクトでは、ERセンターの拡大や健診センターの移設、入退院支援センターの拡充などの院内の構造・組織上の改変だけでなく、電子カルテのクラウド化やiPhone導入など医療Dxへの積極的な取り組みを含めたソフトの変革も行います。ただ、もっとも重要なことは、本院の医師・看護師・メディカルスタッフなど職員の意識改革と考えています。本プロジェクトを始めて以来、いくつかのグループワークを通じてコンセプトの浸透を図り、院内各所にパネルを設置して意識づけをしてきました。こうした私たちの思いを院外の皆さまにもご理解いただき、本院と手を取り合って地域の安心を守り続けていくことができればと思っています。

みなとの20年

みなとの誕生



横浜市立みなと赤十字病院

横浜市立みなと赤十字病院は横浜市が開設し日本赤十字社が運営する公設民営病院です。
横浜市港湾病院と横浜赤十字病院の機能を引き継ぎ、救急医療、災害医療、高度専門医療、政策的医療を担う病院として、2005年に誕生しました。

みなとのこれまで



救急

心臓疾患・脳血管疾患・重度外傷など、緊急性の高い疾患に対して36の診療科が密に連携し、24時間365日体制で地域の安心を支えています。2024年度の救急車受け入れ台数は12,812台にのぼり、全国でもトップレベルの実績を誇ります。厚生労働省による救命救急センターの充実段階評価では、7年連続で最高ランクの「S」評価を獲得しています。



災害

2020年、新型コロナウイルス感染症対応ではDMATをいち早く派遣。専門病棟を設置し感染患者さんを多数受け入れました。令和6年能登半島地震では救護班など計6班を派遣。また、発災翌日の羽田空港航空機事故においても発生1時間後には救援に向かいました。平時からも日本赤十字社救護員および日本DMAT隊員などの養成・訓練、院内災害訓練も定期的に行い、災害対応能力の向上に努めています。



高度専門医療

高度な医療機器の導入と人材の育成を通じて、大規模病院ならではの専門性の高い医療を提供しています。また、救急医療で培った36診療科の連携力により、複数の疾患を抱える患者さんにも幅広く対応できる体制を整えています。

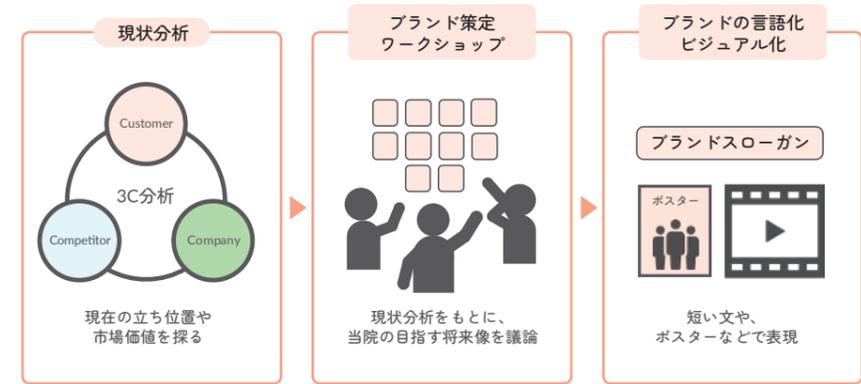
様々な機能を拡充し、皆さまとともに成長してきました。



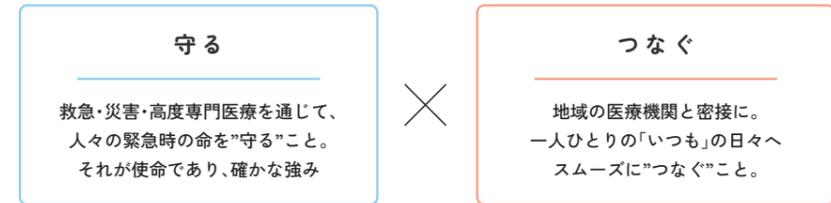
開院から20年、外部環境、内部環境も大きく変化しました。私たちも、今まで強みを生かしつつ、変わるべきだと考えました。

「みなとReborn Project」始動

地域にとってより必要となる病院になるため、私たちは改めて“みなと赤十字病院”を見つめ直しました。



こうした取り組みを通して、私たちは当院の目指す方向性を言葉にしました。



ブランドスローガン

もれも守る。いつもへつなぐ。



救命救急センターの一員として、地域の皆さまの“もしも”に備え、「断らない救急」「断らない集中治療」を目標に取り組んでおります。今後も至らぬ点を見直し、より良い医療の提供に努めて参ります。
どうぞ気軽にみなとへご連絡ください。また、回復された後の継続的な診療に関しても、何卒よろしくお願い申し上げます。

「院内多職種と地域の皆さまとのシームレスで密接な連携を図ることが、患者さんの「いつもにつなぐ」ことができると考えています。患者さんがこのまちで、自分らしく暮らせるよう、患者さん・ご家族の想いを聴き、その想いを繋いでいけるよう努めてまいります。」



療養・福祉相談室 / 医療ソーシャルワーカー
亀山 友美

まちの安心を守るために、当院ができること。

もしもを守る。いつもへつなぐ。

ブランドスローガンを胸に、次の20年に向け、新しい取り組みが始まっています。

5つのブランドプロミス

36の診療科の総合力で、高度な医療を提供

レベルの高い医療スタッフたちが、専門的かつ先進的な技術と診療科や職域の垣根を越えたチーム力をいかして、急性期医療を中心に展開しています。



一人ひとりに適切 & スピーディな対応をめざす

患者さんの思いに寄り添いながら、一人ひとりに適した納得感のある医療を迅速に提供。救急車受け入れ台数全国2位など、患者さんの受け入れについて、すぐれた実績があります。



地域一体となったチーム医療の実現

地域の医療スタッフとも密接に連携。患者さんの状態をていねいに共有するので、日常診療や日常生活など「いつも」の日々へと戻った際も安心です。



日本赤十字社の使命のもと、いのちと向き合う

苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、人間のいのちと健康、尊厳を守ります。市民の健康増進に貢献するほか、国内外での災害救護活動、社会活動なども行なっています。



このまちの安心を、ずっとお届けし続けるために

すべては、まちの人々にずっと安心して過ごしていただくために。みなと赤十字病院は、今後も患者さんとご家族、地域医療機関、職員に対し、さまざまな取り組みを推進していきます。



ホームページリニューアル



ブランドコアを体現し、ユーザーフレンドリーなページを作成するため、2024年11月にリニューアル。求める情報へ即座に辿り着けるページへ生まれ変わりました。

ホームページはこちら!



無料シャトルバス試験運行



関内駅、元町・中華街駅、当院間を結ぶシャトルバスの試験運行を開始。一日約15便の運行で患者さんにより快適な移動を提供します。

詳細・時刻表を確認!



WEB予約システム



患者さんの受診アクセス向上のため、WEB予約システム「やくばと」を導入。(初診限定)
24時間いつでもどこでも予約可能となり、患者さんの診断から受診までの不安を和らげます。

診療費後払いシステム



患者さんの会計待ち時間の削減と、会計窓口の混雑解消に向けて「らくらく会計」を今秋導入予定。患者さんの利便性向上、スタッフの負担軽減の両立を目指します。

自動搬送ロボット



日本で2例目となる自動搬送ロボット「FORRO」を今夏導入予定。スタッフの負担軽減にも貢献し持続可能な未来に向けた取り組みを行っています。

救急外来拡張工事



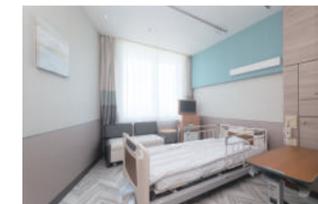
当院の救急患者受け入れ数は約2万人、全国トップレベルの受け入れ数を誇ります。これからも地域の皆さまに頼っていただくため、工事期間中も受け入れ体制は維持し2026年3月の完成を目指します。

医療機器共同利用予約システム



地域医療連携サービス「カルナコネクト」を導入。WEB上で医療機器共同利用のご予約がいつでも簡単に行えます。
※PET/CTとRIは電話予約のみとなります。

快適な療養環境



より快適な療養生活をお過ごしいただくために、個室をリニューアル。お見舞いに来てくれた来訪者とも気兼ねなくゆっくりお過ごしいただけます。また、8階特別室ではコンシェルジュサービスを提供しています。